

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)福岡市博多区三筑2丁目プロジェクト	階数	地上13F
建設地	福岡県福岡市博多区三筑2丁目18-1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、法22条区域	平均居住人員	308人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2017年9月12日
敷地面積	3,020㎡	作成者	臼井 千尋
建築面積	920㎡	確認日	2017年9月12日
延床面積	6,178㎡	確認者	定森 淳一



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 85% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 85%

④上記+ 85%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	専用部の室内環境、省エネルギー性能、また、ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量=85%に抑制し、敷地外環境に配慮した計画。	その他 特になし。
<b>Q1 室内環境</b>	専用部居室の界床遮音性能の良い材料の使用で音環境に配慮。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 中高木のある緑地計画に努め、敷地内環境に配慮。
<b>LR1 エネルギー</b>	LED照明、専用部主要居室LDIに床暖房温水マット設置し、省エネルギー性能に配慮。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量=85%に抑制し、敷地外環境に配慮。
<b>Q2 サービス性能</b>	重要機器の機械耐震クラスAとし、信頼性に配慮。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	専用部居室にシステム二重床を計画し、部材再利用可能性への取り組みに配慮。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される